

2019 年度 ユネスコスクール活動報告

(学)市川学園 市川中学校・高等学校

本校 ESD テーマである 1. 国際理解教育 2. 理科教育 3. 環境教育を中心にこの 1 年間の活動を報告する。

1. 国際理解教育

(1) 海外研修(英語による教養研修)

- ① イートンカレッジ研修(英国・Eton College, 中 3～高 2:20 名, 19 日間, ドミトリー)
- ② ケンブリッジ大学研修(英国・University of Cambridge, 中 3～高 1:30 名, 15 日間, ドミトリー)
- ③ オックスフォード大学研修(英国・University of Oxford, 中 3～高 1:29 名, 15 日間, ドミトリー)
- ④ ボストン研修(米国・Harvard Univ./MIT/Dartmouth College, 高 1～高 2:23 名, ドミトリー)
- ⑤ カナダ研修(カナダ・Vancouver/Nanaimo, 中 3:31 名, 17 日間, ホームステイ)
- ⑥ ニュージーランド研修(ニュージーランド・Otago, 中 3～高 1:28 名, 15 日間, ホームステイ※中止)
- ⑦ 中 3 シンガポール修学旅行(シンガポール, 中 3:322 名, 5 日間)

(2) 国内研修

- ① エンパワーメントプログラム(UC, Harvard 等の学生による英語教養研修, 7/29～8/2, 105 名)
- ② 中 3 英語研修(シンガポール修学旅行の事前研修, 8/5～9, 各自 2 日間, 海外研修参加者除く)

(3) トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム(文部科学省) 高 1・2 年生 8 名合格(5 期通算 30 名)

- ① 高 1・女子フィジーボランティア 32 日間
- ② 高 2・女子ガーナボランティア 14 日間
- ③ 高 1・女子ケニアボランティア 30 日間
- ④ 高 2・女子イギリス獣医研修 14 日間
- ⑤ 高 1・女子イギリスアカデミック 24 日間
- ⑥ 高 2・女子カナダ英語研修 21 日間
- ⑦ 高 1・女子アメリカ英語研修 14 日間
- ⑧ 高 2・男子ガーナボランティア

(4) 個人参加の国際研修

- ① World Scholar's Cup(東京大会[本校]:47 名 世界大会[北京]:37 名 決勝大会[Yale 大学]:27 名)
- ② Camp Rising Sun(6/20～7/22, 高 2 女子:1 名, 各国代表とニューヨーク州キャンプ場で共同生活)

(5) 文部科学省 WWL(ワールド・ワイド・ラーニング) コンソーシアム構築支援事業への参画

- ① SR サミット(7/30～8/1, 各校プロジェクトをブラッシュアップ, 「ふっこう会」メンバー 3 名参加)
- ② APU Summer Camp(8/5～6, 高 1 女子:2 名, 立命館太平洋アジア大学留学生との協働活動)

(6) 国際交流 米国 Wartburg 大学来校(5/7～9, 吹奏楽団学生 53 名, 合同コンサート, ホームステイ)

(7) 校内活動 ① 文化祭フェアトレード:39,906 円. 発展途上国の物品を適正価格で購入・販売. ポスター発表も実施. ② 校内募金活動:20,395 円. 6 月 NPO フリーザチルドレンを介し発展途上国の子どもたちに飲料水を送った.

(8) 校内発表会 国際研修参加者は学年集会, 文化祭, 全学発表会(市川アカデミックデイ)で成果発表を行っている.

(9) その他, 毎年実施している活動 ① 留学キャラバン(海外大学進学説明会, 7/15, 海外大学に進学した日本人留学生 NPO による説明会) ② JICA 講演会(中学道德授業で, JICA 海外協力隊員による講演会を学年別に年間 1～2 回実施)

(10) ホストファミリー・ネットワーク 留学生受け入れ準備家庭 登録数:85 家庭

2. 理科教育 SSH 指定第 3 期・1 年目の本年度は以下の活動を行った

(1) 研究開発の課題

探究的な授業と課題研究を両輪とする指導方法を完成させ、国際的に活躍できる課題発見型研究者育成の基盤を構築する。

(2) 研究開発の概要 ①通常授業の改善のために学校設定科目に指定した、探究数学Ⅰ～Ⅲ・AB、探究物理、探究化学、探究生物、プレゼンテーション英語、構造読解(現代文)について研究を行った。また、すべての教科を対象に教科の枠組みを超えたコラボレーション授業を行った。②実験から学ぶ探究的な方向を探ると共に、基礎学力の伸長を促す取り組みを行った。③中学校においては、前認知を高めるための CASE プログラムの部分導入を実行した。④課題研究の研究に関しては、課程内容とのリンクを認識させる指導をした。

(3) 海外連携 ① タイ王国 プリンセス・チュラボン・チョンブリ校への生徒派遣(6/3～11, 生徒 10 名 教員 2 名, 共同研究発表/ホームステイ) ② タイ王国 プリンセス・チュラボン・チョンブリ校の生徒受入(9/5～9, 生徒 10 名/教員 2 名, ホームステイ) ③ タイ王国 プリンセス・チュラボン・ムクダーハーン校への生徒派遣(12/19～23, 生徒 5 名/教員 1 名, 共同研究発表/ドミトリー泊) ④ ドイツ Neues Gymnasium Wilhelmshaven への生徒派遣(8/21～28, 生徒 10 名/教師 2 名が現地校で SSH 研究活動を実施)

3. 環境教育

(1) 中学・生物授業での近隣自然観察公園フィールドワークや三宅島での巡検など多様な取り組みを行った。

(2) 保護者会、ユネスコサークルが制服・学用品などのリサイクル活動を推進。校内でのリユースや途上国への発送を行っている。